

平成 30 年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキングの概要

開催状況

- 平成 30 年 9 月 10 日（月） 置賜総合支庁講堂で開催
- 委員（管内 15 病院院長及び置賜保健所長） 16 名参加（代理を含む）
- 報告・協議議題
 - （報告）
 - ・「地域医療構想の推進に関するアンケート調査」結果について
 - ・平成 29 年度病床機能報告について
 - （協議）
 - ・米沢市立病院・三友堂病院の医療機能のあり方検討の状況について
 - ・置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況について ほか

1 協議の概要

(1) 米沢市立病院・三友堂病院の医療機能のあり方検討の状況について

- ・ 米沢市立病院、三友堂病院より、両病院が計画している統合再編に係る医療機能の見直しと病床規模について、両病院が準備した概要資料により説明。

(主な説明内容)

- ・ 【米沢市立病院】医療連携後の入院診療機能については、これまで両病院が担っていた診療機能のうち、救急を含めた急性期医療を担うこととし、病床数は 300 床前後と想定。病院の建替え（新病院の開院）については、平成 35 年度中に三友堂病院との同時開院を目指す。両病院の医療機能のあり方として、地域医療連携推進法人の枠組みの中で、人員、病床数など様々な連携の強化・充実を図っていく。
- ・ 【三友堂病院】米沢市立病院への急性期機能の譲渡後、三友堂病院及び三友堂リハビリテーションセンターが回復期機能を受け持ち、医療・人的資源の効率化を図るため両病院を新たに合築。病床数は、2 病院の統合による効率化も考慮し 250 床に設定。

(協議のまとめ)

- ・ 病床数は、米沢市立病院が 300 床、三友堂病院が 250 床をそれぞれ上限として同意。

(2) 置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況について

各病院より、それぞれの病院運営の現状や課題、今後の医療機能等見直しの方向性について報告し、情報・意見交換等を実施。